

■□ 共同研究・受託研究に関するアンケート □■

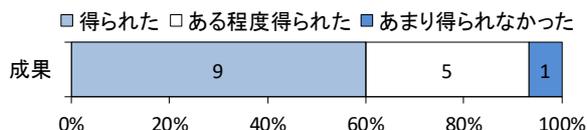
平成30年度に共同研究及び受託研究(14社, 15テーマ)を実施した企業等を対象にアンケートを実施し、満足度を調査しました。その結果、全14社から回答があり、その中で貴重なご意見・ご要望もいただきました。調査内容及び調査結果は以下のとおりです。

《調査内容》

調査目的	中期業務計画(平成29~33年度)に基づき、共同研究及び受託研究利用企業の満足度等を調査し業務改善に役立てる。
調査対象	15テーマ(14社)
調査期間	令和元年5月7日~5月24日
調査方法	調査票を郵送
調査票	選択式及び記述式, 8項目

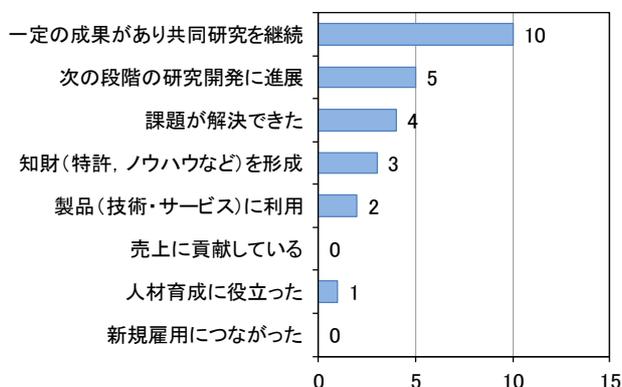
《調査結果》

Q1. 期待した成果が得られましたか



「得られた」、「ある程度得られた」との回答がほとんどでしたが、「あまり得られなかった」という回答が1社ありました。この内容としては、当初、研究対象としていた素材を、期間の途中で変更することが出来なかったというものでした。

Q2. どのような成果がありましたか(複数回答)



成果として、課題解決、知財形成、製品に利用というものが複数ありました。

Q3. センターの対応について



* 「やや不満」、「不満」という回答はゼロでした。

すべての企業が「非常に満足」、「満足」との回答でした。

Q4. 今後も実施したいと思いますか



* 「実施したくない」という回答はゼロでした。

半数以上の企業が、今後も「積極的に実施したい」との回答でした。

そのほか、「課題解決に向けたアドバイスや技術支援が有り難かった」、「お客様のニーズに応えるための検証や分析が必要なので、今後もお願いしたい」等のコメントをいただきました。これらの意見を参考に、利用企業の利便性の向上を図るとともに、利用満足度100%を目指して、今後も業務の改善に努めてまいります。

当センターでは、今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究の実施にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

最後にアンケート調査に御協力いただきました企業の皆様に感謝いたします。

■□ 鹿児島精機(株)から当センターへ電光掲示板を寄贈□■

5月16日に、鹿児島精機(株)から当センターへ電光掲示板が寄贈されました。

当センターでは、これまで同社のものづくりに対して技術支援を行ってきており、同社の山村幸弘社長から恩返しをしたいとの意向で、電光掲示板を寄贈していただきました。

電光掲示板は、来所者へ当センターの業務、保有機器、特許、行事予定などの紹介やイベントなどの案内に利用しています。

なお、今回の寄贈は、同社が宮崎銀行の私募債制度を活用して実施されました。



贈呈の様子

■□ シラスの建設材料への活用研究で論文賞を受賞 □■

5月25日に開催された(公社)日本材料学会の学会賞授賞式において、シラス研究開発室の袖山研一室長が論文賞を受賞しました。

受賞対象となった論文は、「乾式比重選別と粉碎によるシラスの建設材料への全量活用」というタイトルで、東京大学と県内企業の(株)プリンシプルとの共同研究成果が記載されています。

本論文では、南九州に広く分布するシラスについて、軽石質や火山ガラス質等に比重選別を行って物性を評価し、それぞれの特性を生かした活用を提案しています。

特に、シラスの火山ガラス質は、コンクリートの強度を向上させる混和材としての利用価値が明らかとなり、画期的な研究成果として本論文が高く評価されました。



受賞者と賞状及び副賞の楯

<表紙の説明>

鹿児島県の本格焼酎製造で使用されている4種類の鹿児島酵母について乾燥化を行いました。乾燥化により酵母の保存性、運搬性が飛躍的に向上し、離島にある焼酎メーカーに対して安定的に酵母を供給することができるようになりました。



鹿工技ニュース No.126

2019年7月号(年4回発行)

<https://www.kagoshima-it.go.jp>

【発行元/問い合わせ先】

鹿児島県工業技術センター 鹿工技ニュース編集委員会

899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111 (禁無断転載)

